

EAP カリキュラム 質保証指標モデル

5. 成績評価、カリキュラム・授業評価および学習進捗

5.1 全体的な授業設計が、総括的な成績評価（summative assessment）と明示的に関連付けられていて、明確な学習の道筋を提供すること。

- 定例の会議などを通じて、授業設計と評価の関連性について注意を行っている。
- シラバス作成ガイドラインなどの資料を通じて、授業設計と評価の関連性について注意を行っている。
- シラバスチェックを行い、授業設計と評価の関連性を確認している。
- 成績評価のデータを分析して、授業設計と評価の関連性を確認している。
- 授業アンケートの学生からのフィードバックを通じて、授業設計と評価の関連性を確認している。
- 授業で使用された授業計画や教材、ハンドアウトなどを見て、授業設計と評価の関連性を確認している。
- 学生の課題のサンプルを見て、授業設計と評価の関連性を確認している。
- 学生に対して行った書面または口頭フィードバックにより、授業設計と評価の関連性を確認している。

5.2 成績評価が、内容と手続きの両方において、所属学部 of 学術的期待に可能な限り密接に関連していること。これは、所属学部の教員との対話、課題サンプルや試験の分析、または、講義サンプルの共有によって達成することができる。

- 所属学部の教員との対話の機会を設けている。
- 所属学部の教員にもシラバスチェックを行ってもらっている。
- 成績評価のデータの分析を所属学部の教員と共有している。
- 授業アンケートの学生からのフィードバックを所属学部の教員と共有している。
- 授業で使用された授業計画や教材、ハンドアウトなどを所属学部の教員と共有している。
- 学生の課題のサンプルを所属学部の教員と共有している。
- TOEFL や IELTS などの英語テストのスコアを所属学部の教員と共有している。
- 学生に対して行った書面または口頭フィードバックを所属学部の教員と共有している。

5.3 EAP 部門の教員は、授業で使用される評価手順と基準について、事前に学生に知らせること。
必要なレベルに達していない学生に対して、課題の再提出や再試験の機会があれば、その情報も連絡すること。

- シラバス作成ガイドラインなどの資料を通じて、成績評価の手順と基準についてシラバスに記載することを教員と共有している。
- 統一的な成績評価の手順や基準を定めている。
- シラバスや履修の手引きに再提出や再試験について記載している。
- 学生からの成績評価に対する異議申し立て制度を設けている。

5.4 EAP 部門の教員は、学生に対して学習進捗や長所・短所について、適時に役立つフィードバックを行うこと。

- 定例の教員会議などを通じて、適切なフィードバックについて注意を行っている。
- シラバス作成ガイドラインなどの資料を通じて、適切なフィードバックについて注意を行っている。
- シラバスチェックを行い、適切なフィードバックを確認している。
- 授業アンケートの学生からのフィードバックを通じて、適切なフィードバックを確認している。
- 授業で使用された授業計画や教材、ハンドアウトなどを見て、適切なフィードバックを確認している。
- 学生の課題のサンプルを見て、適切なフィードバックを確認している。
- 学生に対して行った書面または口頭フィードバックにより、適切なフィードバックを確認している。

5.5 EAP 部門の教員は、定期的に形成的評価（formal assessment）を行い、そのフィードバックを記録しておくこと。

- 定例の会議などを通じて、形成的評価の実施と記録について注意を行っている。
- シラバス作成ガイドラインなどの資料を通じて、形成的評価の実施と記録について注意を行っている。
- シラバスチェックを行い、形成的評価の実施と記録を確認している。
- 成績評価のデータを分析して、形成的評価の実施と記録を確認している。
- 授業アンケートの学生からのフィードバックを通じて、形成的評価の実施と記録を確認している。

- 授業で使用された授業計画や教材、ハンドアウトなどを見て、形成的評価の実施と記録を確認している。
- 学生の課題のサンプルを見て、形成的評価の実施と記録を確認している。
- 学生に対して行った書面または口頭フィードバックにより、形成的評価の実施と記録を確認している。

5.6 異なる教員やタスク間の成績評価の手順について、標準化、公平性、および一貫性を保証するための対策を講じること。

- 統一的な成績評価の手順と基準について定めている。
- 定例の会議などを通じて、成績評価の手順と基準について注意を行っている。
- 成績評価ガイドラインなどの資料を通じて、成績評価の手順と基準について注意を行っている。
- 成績評価のデータを分析して、成績評価の手順と基準を確認している。
- 授業アンケートの学生からのフィードバックを通じて、成績評価の手順と基準を確認している。
- 授業で使用された授業計画や教材、ハンドアウトなどを見て、成績評価の手順と基準を確認している。
- 学生の課題のサンプルを見て、成績評価の手順と基準を確認している。
- 学生に対して行った書面または口頭フィードバックにより、成績評価の手順と基準を確認している。

5.7 学生に、自分の進捗状況を把握し、教員からのフィードバックを活用するよう注意を払わせること。

- 学生のガイダンスで注意を払うよう指導している。
- Moodleなどのコース／ラーニング・マネジメント・システムを導入している。
- ポートフォリオを導入している。

5.8 学生と所属学部にとって、EAP 部門における単位取得、それに関連した進級・卒業の判定手順や報告書がわかりやすく有用であること。

- 単位取得や判定基準について記載した資料を準備している。

5.9 何らかの形の追跡によって、EAP カリキュラムを修了した学生のその後の学業成績を正式に把握するための効果的なシステムを設けること。このようなフォローアップは定期的に行われ、過去の学生や所属学部との話し合いも含まれること。

- 所属学部の教員と EAP 部門の教員との対話の機会を設けている。
- 進級生に対するアンケートや聞き取りなどの追跡調査を実施している。
- 卒業生に対するアンケートや聞き取りなどの追跡調査を実施している。